

様式 1

真壁小学校 第 1 回学校運営協議会 報告書

- 1 開催日時 令和 6 年 5 月 1 0 日 (金)
- 2 場 所 ハッピー 3 組 (情緒学級)
- 3 参加者 渡辺 英二、濱川 淳、照屋 隆哉、高江 靖、新垣 ひとみ
津嘉山 博好、今井 一義、久保田 力也
- 4 会議内容 (1)講演会
(2)委嘱状交付
(3)自己紹介
(4)会長、副会長の選任
(5)熟議
(6)校長あいさつ
- 5 内 容
 - 「持続可能なCSのあり方について」
講師：CSマイスター 翁長 有希
内容
 - ①コミュニティ・スクールの主な3つの役割をいかした具体的な実践例の紹介について
 - ②組織図に分け、専門部の各々が自主的に活動できている実践例と活発化させる方法について
 - ③委員の構成方法、人選等の決め方について
 - ④学校運営協議会が活発化している実践事例紹介について
 - 学校運営協議会委員長、副委員長選任
委員長：照屋 隆哉 副委員長：高江 靖

○ 熟議内容

1、津波警報時の対応について

- ・職員がいる時間だったので地域からの避難者に対応できたが、休日や夜間時の対応について糸満市として共通確認が必要。
- ・体育館の鍵はキーボックスを設置して、地域の方でも体育館を開ける事ができるようになる。
- ・市外にいと様子が分からないので、情報をいかに受け取るかが大事。
- ・真壁は窪地になっているので、場合によっては照屋まで避難が必要になる。
- ・近くに高い建物が無いので、学校に避難するのが望ましい。
- ・日頃から避難の方法について家庭で話し合っておく必要がある。(はぐれた時の集合場所、1人だけの時にどこに避難するかなど)

2、名城ハーリーについて

- ・昨年、3年ぶりに開催する事ができた。
- ・20年前から子どもハーリーを実施している。
- ・地域の行事として、盛り上げて行きたい。(子どもハーリー立ち上げ時のメンバーの1人)
- ・乗る人間のバランスや漕ぎ方をしっかり教える必要がある。

6 協議会の様子



翁長有希氏の講演会



委嘱状交付



全体写真